京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休日(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郞
印刷人 松久神一郞
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

●獨語(下) 獨去來

◎役人は侍でなければならぬ、軍人は侍でなければならぬ、代議士は侍でなければならぬ、辯護士は侍でなければならぬ、敎育家は侍でなければならぬ、宗敎家は侍でなければならぬ、然り而して世に侍の尠きこと雨夜に星もたゞならざるは奇怪至極、奇怪至極が當世ぢや。

◎無くがはならぬものが無くて、有らぬでよきものは有る、有らねばならぬものて無く、無からねばならぬものが有る、毒烟滾々としは天日を蔽ぎる、この烟が消わたら天定つて人に勝つといふ段取りとなるのぢや。

◎吾も瘦せたりと雖も五尺半の日本の男子ぢや、自由競爭優勝劣敗の理法を恐れもせねば否定もせぬが、泥坊根性素町人根性山狼根性チボ根性にならねば優勝者たること能はざるかと思へば暫く去つて禪榻に臥すの考へとならざるを得ないのぢや。

◎上下交々利を取るといふ、利の外には何物もない、孟子の時代も今の時代も同じことぢや、利は金錢のことぢや金錢で買はれぬものは今の世に獨去來の頭の中の味噌位のものぢや。

◎如何なものでも買へる、金ぢや金ぢや。

◎金なる哉、金なる哉。

◎金に光あり、此光エックス光線以上の奇妙不可思議の光である、如何な先生でも一度腦味噌を射られたが最後、恰も刄物に鹽水を塗り付けたやうに直に赤錆が出る、一寸でも錆が出たら直に我利圖の住民となつて仕舞ふ。

◎此危險思想は何とかの主義ではない、此の錆の出た腦髓に湧く思想のこぢや此思想は驚さずば止まぬ驚れずば止まぬといふ猛烈な結果を來すのぢや。

◎可笑なことには危險思想などゝ言ひ出したのは、錆の出た腦髓に湧き出した思想から見てのことぢや、所謂危險思想は大底な非危險思想で、所謂非危險思想は却て大抵は危險思想ぢや。

◎直接に國税で飯を食ふて國家々々と叫ぶのは、嘘にしても當然だが、比較的國家の恩惠に與からぬ妙までが國家々々で自ら縛して四苦八苦するのは智慧のない話しぢや、國家といふものが必要のあるかぎりは、國家々々の聲が嘘の聲ばかりにしても決して串談のやうに滅亡するものではない、況や僞忠君僞愛國の僞者は升で量る程である不平あるものは暫く山林生活でも遣るが宜い。

◎一番に面白いのは高處の見物ぢや、例の滾々たる惡瓦斯の届かぬ高さの處で、惡瓦斯に醉ふて右往左往四苦八苦するところを見物するのぢや。

◎總督が何とかした、東拓が何とかした、議員が何とかした、役人が何とかした、袁が何とかした、孫が何とかした、米が何とかした、獨が何とかした、滿州が何とかした、犬飼が何とかした、大倉が何とかした、桂が何とかした、濱野が何とかした、神吉が何とかした、歌舞伎座が燒けた、雪が降つた、雨が降つた、眠くなつた、筆を投げたといふ樣なもんぢや。(完)

新刊紹介

海苔干すや漁村の人語水に落つ
海苔の香や漁村の軒に暮れて
清溜や川の筏は朧に
絕壁に梅二三本奇人住む

△東洋時報(第百六十號) 殖民地の經營(內田臺灣總督府民政長官)我殖民地に於て產し得べき我邦の輸入品(江木拓殖局部長)殖民地の敎育に就て(幣原文學博士)清國革命時局史、滿洲穀物取引慣習一班等を載せたり(一冊五十錢東京市麴町區內山下町東洋協會)

△貿易(二月號) 本誌重要記事は元田總裁の(殖民政策上の二問題)大倉喜八郎氏の(清朝衰微の惡因緣)河東田經濟氏の(日本に於ける製紙事業)等にして此他貿易に關する有益の記事を以て充さる(一冊十錢東京市京橋區宗十郎町日本貿易協會)

△婦人世界(第七卷二號) 卷頭の插畫の美なる幾多の寫眞版の鮮麗なるは言はずもがな村井弦齋氏の(をりをり草)高木博士夫人の(私の學生時代)下田歌子女史の(清國動亂と我が女學生)を始め婦人の讀んで爲になる記事の通俗的に面白しく書かれたるもの全誌に滿つ(一冊十五錢、東京市京橋區南紺屋町實業之日本社)

△月刊樂譜 うぐひす、銀世界、夜の雪、團体、神武東征等新歌の譜を揭げたり小學校は勿論兒童を有せる家庭に一本を備へて可なり(一冊五錢東京市京橋區銀座四丁目松本樂器合資會社)

俳句

◎仁川俳壇卯月會第拾參輯(一)

宿題(たほろ、凧、梅、海苔)上坐…逆列

一嶺、梅華、里石、竹賀、金雅、丹葉 合選・

盆栽の梅一尺の口木にて 月兎
舍利は如何に殘んの雪達磨 花水
山蔭や殘んの雪に暮ゆどる 金雅
牛の居る方が野梅の表かも 双柳
筆洇す昏寒むし梅の花 俳北
凧澄むや遠里の鐘暮迫る 甑月
朧夜の樹下出沒す想夫戀 同
口碑に傳ふ志士の荒墳殘雪や 一酒
海苔篊朶や群鷗波の小うねりに 月兎
閑居しても不善はなす梅の主 甑雅
朧夜の徑迴る也茶毘戾り 金月
凧ふわり〳〵夕陽斜め也 丹葉
苔かへた蘗屋根白し朧月 同
陋巷の殘雪少し煤ばみて 醉仙
月朧ものゝ問ふ女京訛り 一酒
燈臺の灯の明滅も波朧 醉仙
天狗風ゝ多福凧のひーらひら 柳仙

●春のいろ〳〵 仁川 原海南

鶯の飛ぶ隱者の軒や別霜
古城荒れ隱者の孤燈冴かへる
木の芽數多絕壁の上奇僧住む
風光る鎭守の森の斜陽かな
長橋に列車響きて風光る
花七日主人の行方不定なる
樂翁や垂釣の淵水ぬるむ
海士は家に海苔は砂上に海暮るゝ

外事一束

▲獨逸●政府公報を以て政府要求國防費の大部分は之れを陸軍に使用すと云ふ

▲英國●坑夫罷業に關し首相ア氏皇帝に謁見して同國石炭業界現狀を奏聞す

▲墨國●將軍オロズコ千五百の兵を率ひて終に叛徒に投じて大統領となり又

▲伊國●領事ゴメツ致馬にて叛徒に襲撃され墨國政府に無政府の窮狀を暴露す

▲議會●にトリポリ及シレナイカ領有宣言をなし伊國政府拍手喝采の受歡迎

▲全國●に戰爭熱漲り伊太利上院代議院皆な伊土戰爭の繼續希望の聲をなす

▲勅語●奉答文修正即ち關税改革に言及する議は英下院大多數を以て否決す

▲支那●事變に關する日本が英への提議破れし爲め日露同盟説露都に行はる

梁川庄八 小金井蘆洲演

第百十四回

藤代夫婦は大きに力を得て、是から姿を變へて公卿町を尋ねて歩きました、然るに不幸にも夫市太郎、が不圖した風邪の心地から、重き病に臥し夫々醫療を盡しましたが、捗々しく全快も致しませぬ、妻のお雪は貞烈無二の女でございますから妙滿寺の日蓮上人に願望を掛けて、夫の病氣全快を祈りました、お雪の一心が届いたか、但しは藥石の効目にや、病は漸々快方に向つて參りましたが、何を云ふにも病後の事とて、荒い風に當りますればゾク〳〵寒氣が致しますと云ふ工合ですから、心は矢猛に逸るけれども、敵眞柄軍十



郎の行衛を尋ねる事もなり兼ね、夫婦諸共怨みを呑みつゝ、鼻を揃へて妙滿寺の厄介に成つて居りました、然るに其頃ひ京都五條坂に、皐月樓と云ふ料理屋がございまして、夫れは料理一方で家の造作から、器物なども至つて上品でありまして、堂上方も折々お忍びで御入來になります、玆に此妙滿寺の寺中に其頃有名な庭師の平助と云ふ者が、世帶を持て居りましたが、京都は凡て庭どころでございますから、公卿となく寺となく町方に至るまで、庭は數寄を盡して作りまする、左れば庭作りは京都が本場としてある位で、庭師も多い中に此平助と云ふ男はなか〳〵

は能く諸方へ出入するが、仲居を一人腕前の勝れたものでございます、皐月樓の庭も此程平助が賴まれて、毎日出入を致して居りますと、或日皐月樓の主人が平助に向つて『主『時に平助お前世話を爲て呉れまいか』只今で云ふ女中京都では之を仲居と申します『主『如何に女振が美しくも氣象の殺風景な者では、俺らアどこの仲居にはなれない先づ香茶又は少しは花等も知て居て呉れなくては困る、去れば躾方を辨へんでは堂上方のお取持が出來んからな、若し恰好な女子があつたら世話をして呉れんか、斯う云ふ商賣だから給料は少くないが、其代りお客様から貰物は澤山ある、其貰物だけでも隨分女親の一人位は、俺の家の仲居になれば喰はせることが出來るだろうから、容貌は二のつぎで宜しいから、今云つた通り少し物を心得た者をどうか世話を爲て呉れ』平『宜しうございます、少し思ひ當ることがありますから』と平助は皐月樓の主人の賴みを請合つて妙滿寺に戻つて參りました、と云ふのは畢竟此藤代市太郎の妻のお雪の事を思うからでございます、途々平助は考へた、平『ハナ俺は妙滿寺に居るお方の事を思うて、安請合を爲たが併し武家の事だから、假令皐月樓がどんな立派な料理屋にしろ、乃公が女房を仲居に住はせることゝは違つてならぬ、と云ふかも知れない、然う云はれゝば氣の毒だが皐月樓の御主人へ斷るばかりだと、斯ふ思ひながら歸つて參つて、豫て夫婦の座敷は心得て居りますから、庭口から藤代の座敷を指して參ります、平助は椽側の處に腰を掛けて平『エー旦那樣被居しやいますか』もう藤代夫婦は暫く此處に逗留して居つて、誰れも彼れも知つて居りますから藤『平助か何だな』平『少し御相談があつて參りました』藤『何用か知らないが、まあお上り』と云つゝ座敷の障子を開けば、平助は椽側から平『オヤ是れは奥様もお出でございましたか、今日は結構なお天氣でございます』藤『誠に好い天氣だ併し平助、お前の商賣は天氣の好い程忙しいだろう』平『難有うございます、まあ皆樣の御贔負で一日も暇なしと云ふやうな譯で、手前も難有いことに心得て居ります』藤『今日は又大層何時もより早仕舞のやうだな』平『ヘイ今日は少々貴方樣に御相談があつて早仕舞に致して參りました、外ではございませんが、若し私の言ふことがお氣に障つたらお詫を致します、旦那樣は何のお望があつて、此寺に御逗留になつて居るかは存じませんが、手前が始終出入を致して居る、五條町皐月樓と云ふ料理屋で仲居を一人抱へたいと斯う云ふのでございます』藤『うむ』平『御存知か知れませんが、是れは京都一番の料理屋で、堂上方も折々お忍でお入來になりますし、或はお寺樣方や武家町人も身分のある人でなければ、皐月樓では悅んでお客に爲ないと云ふ位な、見識のある料理やでございます、其處で如何か躾方も心得て居る、品の宜い女中を一人世話を爲て呉れまいかと云ふ、斯云ふ主人の賴みなんでございます』

東京電報

▲撰擧法案と論戰 二十七日衆議院に於て選擧法改正案に付て議事開かれ原内相の説明後盛んなる論戰あり終に三十六名の委員附託となれり

▲學習院失火責任者 學習院女學部燒失の責任者として松本女學部長及び小林主事の兩名は譴責處分を受けたり

▲捕虜の引渡し 支那保定府に於て官軍は捕虜四十名を革軍に引渡せり

▲邦人被害と時局 本溪湖に於ける邦人の被害は延て滿洲に於ける事態を重大ならしめんとす

▲袁孫等に對する不平 上海電報によれば黎元洪の一派は時局に關し袁世凱孫逸仙の擅斷を憤り不滿不平の聲大に高し

▲西大將の薨去 西陸軍大將は昨夜遂に薨去せり

北京特電

▲南方使節使命 今回南京側より北京の袁世凱と妥協すべく派遣されたる唐紹怡等一行の帶びる五大使命は左の如しと觀測さる
一 袁世凱を大統領に推薦する事
二 共和憲法草案を示し且つ國民議會招集に贊成せしむる事
三 首府を南京又は北京に定むる事
四 財政を整理する爲め大借款を起す事
五 袁世凱の南下を勸誘する事
以上の中大問題は借款の件にしてそは已に妥協成立し居れるもの、如し

▲使節歡迎盛也 南方使節唐紹怡及王兆銘の一行二十四日天津に着せしが趙直隸總督は袁世凱の代理田文烈と共に一行を天津停車場に出迎へ警戒極めて嚴重にして同夜は總督衙門の大歡迎會に臨み二十五日獨白瑞佛四國外臣の聯合歡迎會に招待されたり尙一行が停車場に着するや英西獨の商人は相爭ふて一行を圍繞したり

▲藍と東三省總督 藍天蔚は南京使節一行と會見の後新任奉天總督張作霖に代りて東三省總督として藍天蔚を推すことに協議調へり

南京特電

▲軍備充實と借款 南京政府は南北交戰以來軍備充實費として五千萬圓を新政府豫算中に計上せしむべしと傳へらる右は多分借款に由るならん

▲武昌の代表者北上 南京代表者と袁との會見に際し黎元洪は武昌よりも五人の委員を派遣すること、なり二十六日該鐵道により北上せしめたり

▲蒙古活佛要求 活佛は支那政府に通牒し三日間に蒙古の獨立を承認せよ又は同期間内に回答なくば軍事的行動を取べしと通告せり

雜報

●議會と朝鮮問題 二十七日午後八時四十分總督府着公電によれば二十七日貴族院分科會に於て荒井長官より四十五年度豫算に付き大体の説明を爲し吉川男より朝鮮公債の現在及將來其整理租税其他歳入の將來柵澤伯より東洋拓殖會社の成績及之に對する政府の處置に關し質問あり荒井委員より詳細の答辯を爲せり

●道長官會議期 來る四月一日より總督府新官制實施に伴ふ各道長官會議を總督府に開催すべしとは曩に報道したる處なるが愈々來る四月十五日より約一週間總督府に開會する事に決定せり

●日露船車全聯絡問題 東清鐵道の貨客連絡運輸は愈々四月一日より實施さる、事と既報の如し然るに鐵道院商船滿鐵及び東清線連絡運輸は我に於ては稍々研究を要する事項少なからず就中現行商法の解釋上兎に角一の除外例を設くるに非ざれば其運用充分ならざる點もあり巳に前期議會に於ても改正法案を提出せられたる程なるが多分今次期中には通過裁可を得る事となる可く随つて右運用不充分の點も不日除外せらるべし然るに該連絡運輸協約中に朝鮮鐵道及び安奉線をも加入せしむべしとの議は昨年露都に於ける彼我會議に於ても議題に上り大体に於て異議なき模樣なりしかば是れ亦た次期會議に於て協議せらる、筈なるが目下東京に於ける鐵道院對東清線會議の結果成行如何は未定なるも或は交渉の進行上議を浦潮に移し各社代表者等會合の上決定せらる、やも知れず今日にては實施期日範圍等總て未確定なる由

●新任軍司令官着鮮 安東新任軍司令官は今朝着の連絡船梅ヶ香丸にて釜山に上陸し棧橋には憲兵隊警察官其他多數の官民女學校生徒在郷軍人會員愛國婦人會員等出迎へ税關構外には守備隊[illegible]守備隊は海行かばの喇叭を吹奏し最敬禮を爲せり而して安東司令官は大邱より特に出迎たる石田臨時派遣隊司令官と共に大池旅館に投じ暫時休憩の上商品陳列所を參觀の上二十八日夜出發の二十九日午前九時六分龍山着の筈にて龍山停車場に於ては騎兵一小隊儀仗隊に服務し堵列部隊として歩兵第六十五聯隊の二中隊朝鮮歩兵隊の一中隊堵列し野砲第六中隊は禮砲を發射し上長官は官邸に伺候すべしと云ふ

●山縣政務總監歸期 滯京中なる山縣政務總監には三月三日頃東京出發歸任の途に就くべしと

●仁田原中將着期 新任第二師團長仁田原中將には來る三月陸軍省に開會の師團長會議に列席の上同月中旬東京發着任すべしと

●仁田原師團長經歷 今回歩兵第一旅團長より第二師團長に昇任されたる從四位瑞寶三等旭日二等功三級陸軍中將仁田原重行氏の經歷を聞くに氏は福岡縣平民にして明治十六年十二月歩兵少尉に任ぜられ二十年四月中尉に二十四年一月大尉に二十八年三月少佐に三十二年三月中佐三十五年十一月大佐に三十八年七月陸軍少將に昇任し今回陸軍中將に任じ第二師團長に補せられたるなりと

●寺内總督の伺候 寺内總督には來る三月三日午後〇時三十分新舊軍司令官帶同し昌德宮李王殿下並に德壽宮李大王殿下を伺候し新舊軍司令官の紹介並に告別を兼ね病氣全快の挨拶を爲す筈なり

●總督邸午餐會 今般英國總領事ボルター氏は辭任歸國するに付之が送別の爲め寺内總督は二十九日正午其の官邸に午餐會を開くべし陪賓として小宮次官石塚、小松兩長官明石少將兒玉會計局長及總督附武官等臨席の筈

●新舊司令官招待 寺内總督は二日午後六時より其官邸に於て新舊軍司令官を主賓とし其他總督府文武官民團長朝鮮銀行總裁東拓總裁李王職並に顧問の重なるもの四十八名を招き晩餐會を催すべし

●各道苗圃の現狀 農商工部調査に係る朝鮮各道に於ける苗圃の現在數を聞くにその總數百三十四ヶ所にして各種經營別に記せば如左
一 國費經營 十四ヶ所
二 地方費經營 七十六ヶ所
三 恩賜授産費經營 四十四ヶ所

●紀念植樹と通牒 總督府にては前年の如く各道をして來る四月三日神武天皇祭日をトして紀念植樹(約五百萬本)を[illegible]此程農商工部より右準備に着手すべき樣通牒を發したり

●內務主任會議開催 京畿道廳にては四十五年度より實施する經費渡切りに關する規程講習の爲め三月十二日より三日間管内各府郡の內務主任を召集し講習會を開くべしと云ふ

●京城生産品 京城日本人商業會議所調査に係る昨四十四年中京城(龍山麻浦を除く)に於ける各生産額を聞くに左の如し

類	數量	價額
清酒	一、九五〇石	六八、二五〇圓
醬油	五〇〇石	九、五〇〇
味噌	二〇九、〇〇〇貫	二六、三六〇
石鹸	五、八七六函	二九、二二二
牛肉	六、四一〇、四〇六斤	八七二、一〇八
牛皮	二一、七二七枚	一六五、一二五
牛脂	三三九、四七〇斤	二三、五九一
牛骨	一、三六八、八〇一斤	二一、九〇一
石灰	三五、〇〇〇俵	二五、三七七
米糠	六六、〇〇〇俵	五二、八〇〇

●京畿道の地方費 京畿道の地方費は四十四年度に於て地方より徵收するもの八萬餘圓なりしが四十五年度に於ても之を增徵せず只國庫よりの補助金及産業獎勵金の交付等により明年度は約三十萬圓餘に達すべく既に其計畫は確定したりと云ふ

●東拓重役の收入 朝鮮唯一の大會社として將た又批難の聲高きを以て一大名物となれる東洋拓殖會社は國民の膏血を絞れる三十餘萬金の補助を受くるだけありて重役の面々も從つて[illegible]なるが今同社重役が本俸、手當、在外手當、年末賞與、社宅料と種々の名目の下に搔込みをる收入左の如し

	本俸	重役手當	在外手當	年末賞與	社宅料
總裁	六、〇〇〇	五、〇〇〇	六、八〇〇	八、七五〇	一、八〇〇
吉原	四、〇〇〇	三、五〇〇	四、七〇〇	五、八三三	一、四四〇
岩佐	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、九五〇	五、二四三	一、二〇〇
林	三、〇〇〇	二、五〇〇	三、五五〇	五、二四三	一、二〇〇
井上	三、〇〇〇	二、五〇〇	三、五五〇	五、二四二	一、二〇〇
韓	三、〇〇〇	二、五〇〇	……	五、二四三	……

今之を總督府各勅任官の俸給に比すれば勅任一級加俸共六千三百圓二級六千圓三級同五千百八十圓にて他に何等の收入なし縱令會社とは云へ約三倍の高祿を貪りながら何等事業の見るべきものなきに晏如たる彼東拓重役の心事果して如何

●朝郵重役集合 朝鮮郵船會社にては愈々近々業務開始につき創立總會其他重要案件協議のため各重役を當地に會合する事になり居り原田社長は數日前より吉田專務は二十八日朝其他堀氏も入京し麻生音波氏は二十八日夜深尾氏等と二十九日中にそれぞれ入京すべしと云ふ

●英總領事辭任 京城駐在英國總領事ボーナー氏は近日中辭任の上本國に歸國する筈なり

●軍隊慰問使の清津着 軍隊慰問使奥村侍從武官は廿八日朝清津に着せりと

●半島鑛業振興上の意見(十二)

△津田鍛雄氏談(つゞき) 朝鮮鑛業の開發を内地人富豪の經營に俟たんと判ずるの沒條理なるは既に前述の事由に依つても知り得るが更に他の方面より之れを論ずれば世間鑛山經營を云々する者直ちに大資本の必要を絶叫するも是れ亦事理に通せざるの愚論である勿論英の如きは稷山金鑛に三百萬圓を投して失敗し獨の如きは同原鑛山に百萬圓を投して失敗した例もあるが兩者共に其の失敗は經營方法を誤つたに基き決して資金の缺乏に因り失敗を招いたのではない即ち英の如きは殷山の山間に百五十萬圓を投して煉瓦造の工場事務所宿舍を經營したではないか更に轉して比較的成効したりと稱せらる、遂安金鑛は如何と云ふと最初モールスが其の權利を得て之れをレーハントへ讓與したのだが其當初の資金三百萬圓と稱するも之れは同山の權利を見積つての負債額で實は五十萬圓の金にさへ窮し僅に宮内府より五臺使備技師長自身の信用を利用して米國より十臺のスタンプを取り寄せて天幕の下に宿りて採掘に從事し後利益を得るに從つて現在の一千萬圓に資金を增したのだ又た目下一ヶ月十二萬圓以上を出すコールブランの遂安金鑛の如き着手當時の資金は僅に十萬圓に過ぎず稷山金鑛も亦外人の器械据付費は僅に十二萬圓に充たざる等の事實に見るも決して鑛山經營には必ずしも大資本を要せざるを知るべく之れを海外の大金鑛に就て見るも亦同じ唯だ其の經營者にして相當なる人格を有する人たると適當なる技術者たるとを得ば採鑛を開始すると共に必要なる資金は決して之れを得るに難くないのである又た世上鑛業家中には朝鮮鑛業開發策として農商工部に地質調査を要求する者があるが現今日本内地に於ては地質調査の如き既に完全に行はれて居るが而も一の良鑛山を其の地質學者に依り發見せられたるを聞かず由來鑛山發見の如きは之れを決して何等かの補助の下に政府事業として行はるべき性質のものにあらず寧ろ個人若くは會社等が人を派して自由競爭の鑛臺に於て他に率先して之れが先鞭權を得んとの努力の下に始めて行はるべきもので論者の愚や笑ふべきである尙は又た苟しも國家的の見地よりすれば鑛業經營の如きも亦之れを一私人若しくは一會社に經營せしむるとか或は外國人に經營を許可するとか云ふは別問題だが苟しくも日本臣民と云ふ點より見れば軍事上の必要の起らざる限りは朝鮮の鑛業經營の如きは決して之れを一豪にのみ若くは外人間に許可すべき性質のものでない彼の近來外人の朝鮮に於ける鑛業經營を歡迎する者の如きはレーハントのナイル河デルタに於けるが如く外人鑛業經營者の如何に朝鮮の富を輸出するか日本本國の鹿兒島長崎臺灣等の鑛山に外人と同一の最新式の器械を以て内地人が採鑛に從事しつゝあるを知らぬのだ明治卅三年頃松方總理大臣の語る所に依ると日本に金貨本位を實施したのは日清戰爭に依り得たる償金を基礎とせるは勿論なるも寧ろ將來朝鮮の金鑛を開發して其の産金を日本に移入するを以て大なる基礎とせしに因るとあつたが其の當時既に日本の政治家等は朝鮮鑛業の開發を將來の國是とせるに見ても之れが開發は係りて日本臣民たる我等の双肩に在る譯で其の鑛業にして開發せらるゝに於ては招かずして内地移住民の群集すべきことは僅に砂金の發見ありたりとて往年北海道江差の内地人が急に一萬の增加を示せるに顧ても之れを知り得べし即ち鑛業は之れを何れの方面より見るも政府に於いても最も考慮すべき重要問題であることは日露戰爭當時渡邊工學博士の奥州氣仙沼金鑛の發見說が如何に多くの便宜を桂内閣の國債募集上に與へしかに見ても其の一般を察し得べし而して今日の朝鮮總督府が朝鮮を開發する上に於ては廣く一般に鑛山探見を獎勵するが最も必要であらう勿論鑛山經營には鑛質の善良、鑛脈の廣大資金の豐富、燃料の豐富、水力の便宜の五條件は必要なものだが併し此等五條件は畢竟一の理想に過ぎず即ち鑛質の善惡と鑛脈の大小とは常に相反比例するが實際の狀態である故に今日は寧ろ鑛脈の大ならざる鑛質の善良なる鑛山を小資本を以て經營するも却つて得策ならん尙は小資本家の百金と富豪の萬金とは之れを得るの難易推して知るべしで政府は寧ろより多くの保護獎勵を小資本家の鑛業家になさんことを希望す然るに當局は空權家防遏策として内地富豪の朝鮮鑛業經營を誘致するも鑛業界の成巧者は悉く之れ其の當初は空權家で空權家が瑣瑣して他日の成巧者となり漸次鑛業を發達せしむるものにして防遏の要は空權家の人格の有無にあり

●小松長官の招宴 小松總務部長官は二十八日午後六時より當地佛國領事館より東京大使館付に轉任のボンマルシヤン氏を主賓に明石警務總長小宮次官兒玉局長秋田、渡邊の兩書記官其の他數名を撫翠樓に招待し晩餐の饗應ありたり

●牛疫豫防注射開始 朝鮮牛疫は近年咸鏡北道の北部に時々發生したる外他地方に於ては更に其の發生を見ざりしも該疫は頗ぶる猛烈なる傳染病なるを以て之が根絶を期する爲め其の病源地たる清國間島、琿春地方と直接交通の關係ある鏡城以北の畜牛全部に豫防注射を施行する筈にて夫々當局に於て計畫中の處愈三月十二日より着手の趣きなり右注射に要する材料は先般釜山に新設せる農商務省牛疫血清製造所より供給せらるゝ筈尙間島琿春地方は恐るべき病源地なるが同地方に於ては牛疫の發生は已に地方病となり居る有樣なるが如何なる惡疫も處に慣れ物に馴るれば自然に傳染力微弱となるも一旦他地方に移され風土の變化に遇ひては再び恐るべき猖獗を爲す性質を有し萬一流行の場合には恐るべき損害を招くべければ此際大々的に根絶を計る由にて其の危險區域は鏡城以北の地方にて其の注射施行頭數約三萬頭の見込にて一度注射を施し置けば當分免疫すべしといふ

●種痘勵行準備 從來警務總監部にては春秋二期に於て種痘の勵行を爲し以て天然痘の撲滅に力を盡せし甲斐ありて近時其流行を見ざるに至りたれば尙一層種痘の勵行を爲す目的にて從來各地にありたる種痘認許員の外各道に於て男女の種痘員多數を養成し以て之が任に當らしめん筈なりと云ふ尙從來種痘員の使用し來れる器械は使用上の不注意より却て其害なきやを懼れ新に器械を買與へ全然天然痘を消滅せしめん目的なりと、

●警務官の銅嶺分署巡閲 中野警務官は明二十九日午前より銅嶺分署の巡閲を爲す由なるが明石警務總長も臨場すべしといふ

●中山地方裁判所長巡視 京城地方裁判所長中山勝之助氏は廿八日午前十時十三分仁川着直ちに同仁川支部に至り事務視察を遂げ旭屋旅館に一泊二十八日歸京す

●川島浪速氏の入京 目下旅順にある肅親王の顧問たる清國通の川島浪速氏は二十七日夜入京巴城館に投宿したるが多分廿九日朝出發歸東すべしと云ふ

●角田憲兵副官水原行 憲兵司令部副官角田少佐は明石司令官代理として二十九日朝着任の安東司令官出迎の爲め二十八日午後五時十分發南大門驛發列車にて水原に向ふ

●鬱島內地人學校に補助金 鬱島移住民によりて設立せられ尋常小學校に對し去る二十三日付を以て總督より一時補助金百五十圓を下付せられたり

●佐々木土地調査局課長出張 土地調査局の佐々木課長は目下慶尚南道方面へ出張中なりと云ふ

●朝鮮兵隊募集 朝鮮歩兵隊及騎兵隊にては來る三月五日同隊に於て兩隊を通じて朝鮮兵百二名を募集す

●正米組合の記者招宴 京龍正米組合にては二十七日午後六時より當地記者を撫翠樓に招待し各組合員の披露宴を張りたり

●龍山の農業組合 龍山居住の農業家三十余名は農業改良を目的とし且つ鮮人に模範をなすべく農事組合なるものを組織し組合長に田中三郎氏を推薦せり

●仁川民會開設 仁川民會は來る二日午後七時より民會開催さるべく其の議案は前回の協議案件なりと

公人 私人
▲田中暢(歩兵大尉)巴城館
▲末松吉次(憲兵中尉)山本旅館
▲矢田下次(釜山税關技師)浦尾旅館
▲正岡藝陽(やまと新聞理事)
▲澤來太郎(代議士)本日出發
▲佐々木安五郎(代議士)同上

▲京城手形交換高
二月廿八日 枚數 五一 金高 二〇二、七四一、八九〇

▲茶袋▼ 民團もいよいよ四十六年度から廢されるとの事▲元來程度に於て雲泥の差ある内地人とを同一に取扱ふことは出來ないそこで民團を廢すとしても、内對する行政は、格別の方法を設てしなければならぬ▲當局は此て如何なる成案かある、民團の民團廢止の曉に於いて官憲をし矢鱈に其頭を押へ付けさせぬ樣ら研究してをくことが肝要であ釜山の民長が同地民間の德望家に決定した、其に就て、寺内總意に逆はずして島田を官選したいと頗りと感心してをる者があ年前の帝國議會に居留民團改正提出された際、同法案附托の委政府委員兒玉伯は、民長を官撰たからとて決して民間の意嚮にな事はしない、必らず民望の歸の人をして官撰すると明言し、ちやんと當時の速記錄に留めて今度寺内總督が島田を釜山民長したのは、即ち帝國議會に於けを重んじた迄の事で、別に偉いメるにも當るまい。



宗匠訪問録（十二）　新生田流箏三絃指南

中菅道雄君

本町二丁目京城郵便局の眞向ふを這入つた右側の二階家から何時も優しい琴の音が流れてゐる夙に斯道の天才と呼ばれてゐる盲目音樂家中菅道雄君の住宅なのである二階の一室に通される床に琴、座敷の隅に蓄音機が一ー備へられてある絶ねず手指を動かしながら左の如くに語る。

琴の三器は娛樂の一種でありまして琴は神農の作でありましたが後七絃となり、瑟は五十絃でありましたが是も二十五絃となり箏は秦の蒙恬の作で十三絃であります私の方で用ゆる琴は即ち箏でありますが何時か箏を琴と云ふやうになりました我國で琴の始まりましたのは神代で天の沼琴が始まりでありまして彼の岩戸神樂に弓六張を並合せて菅を以て弾かれたと云ふのに起つて居ります其後だん〳〵人智の發達に連れ木にて作り絃を架して樂器とし撥の如なもので彈ずることになつたのでありますそれから欽明天皇の朝に百濟から樂人が渡來するやうになりました此頃漢士から寄つて來たのが箏でありますから十三絃も同時に渡來したものとも思はれますソコで此の琴を和琴又は倭琴と呼び彼の唐琴と申し我國に古來からのものと云ひました箏に就ては宇多天皇の御宇五位の女官石川色子と云ふ人が筑紫に下り始めて異人から箏の曲を習ひ之を宇多天皇に授け奉つり後筑後の善導寺の僧賢順と云ふ人が箏曲を授けられ賢順玄恕に授け之を又山住何當が賢順の妙儀を極め上永檢校と云ひ之を八橋檢校と改めました此の人が新曲十三を作りまして之を新曲十三組と申します其後名人が輩出して今日の如な盛況を見るやうになつたのでありますソレで生田流とか山田流とか新生田流などと申し生田檢校から出て居るのであります三絃は文錄の頃琉球から蛇皮を張りて糸三筋を掛けた彈物とソレに合ふ歌を渡來したのを石村檢校と申す人が改めて習つたとも亦一說には文錄の頃梅津中將と云ふ人が筑紫の國に住み居たるが其際石村檢校が同伴して持ち來たり我が國に傳はれりと申しますはじめは蛇皮線と云ふたのですが何時となくしやみせんと呼ばれるやうになりました是れが三絃となりましたのは長谷寺の觀世音の御諭しにより糸一筋を添へて三絃としたと云ふことでありますツマヲヌこさばかり神若とりましてと冷ひた茶に咽喉を濡はし私が斯道に入りましたのは九つの時で、師は神戸に住んでゐた中島絃教と云ふ方でありまして同時に三絃も同師から學びました三絃の方は野川流と申します（つゞく）

●牛肉の大暴騰

▽脅されたる吾人の生活

生牛の出廻薄を口實として當地日本人牛肉商は組合協議の上下の如き思ひ切つたる値上げをコソリと斷行したり

名稱	舊價	改正價
内ロース	二十錢	卅二錢
ロース	十八錢	廿八錢
上肉	十五錢	廿二錢
中肉	十二錢	十八錢
並肉	十錢	十四錢
スープ	同	同

其他ヘツト、豚、鷄肉とも約三、四割方を引上げたり

誰か此を暴騰にあらずとなすか、誰か此を根據ある至當の引上げとなすものぞ、斯の如きは實に鮮民の大痛事なり此事は鮮人及中華人間に影響して此又三四割方を引上げたり、東拓は小作米を收藏して米價を釣上げ、魚市場は合同して魚價を引上げ今又牛肉商は此大暴騰を斷行す此を之れ總督政治普及の餘澤と見んは又餘りに慘酷ならずや

●小富士の田舍行

▽粹に捌けた田中さん

元仁川一富士で小富士と名乘つて千兩藝妓の名を築港用のトロツク程に轟かし居たる者あることは御存じの方の御存じの通りなるが其小富士が四五日前の事仁川仲町陶築支店へ丸髷姿を現はして此が妾のブブ茶碗、此が良人のブブ茶碗、此が妾のゝ、茶碗、此が良人のゝ、茶碗、丼、小鉢、大皿、小皿の數々を調へ居たる後姿を見た兎耳子、好個御座んなれと樣子を探つて試ると此妓最負の客も多かりし内に海岸通りの田中さんには特別の御寵愛を蒙つた揚句落籍されて榮耀榮華の有り丈を盡せる身と成つたれは大概の者なら嬉しがるべきを彼は何やら浮き立たず思案涙に暮るゝ事さへありしも道理彼女には○○郡書記高橋某と深く云ひ交はし居たるにて落籍されて後も田中さんの眼を忍び月に一度の媾曳にはかない戀の自劣体さ姿ヲカケと誓惡ない人の口の端にかゝるも辛きのみならず田中さんには立派な[illegible]さんもある事一代一生厄介に成る事も叶はねばと思ひ定め或夜の事、男の耳は噛み潰して只モヽ未が醬じられるの一點張で泣き落し遂に田中さんをして俺が見て此男ならと見極めが付いたらと粹に碎けた挨拶を爲せて終つた翌日一富士に駈け込んで一伍一什の魂膽をガラリ打ち撒け高橋某を某高等官にして一富士の親戚と觸れ込んでマンマと首尾克く神ならぬ田中さんをれ欺し申して結婚の式を擧げたのが昨年の十一月、何時まで仁川と○○郡と別れて居ては何かの障りと扱こそ〳〵

●他妻を挑んで詫狀

▽不器量な四十男

龍山若松町に一方は京城の去る役所に通勤する○○と龍山の去る役所に通勤する中山とか山中（四〇）とか云ふ二人の家は軒を並べて居るより互に往來する樣になりたるまでは差支なきも山中は妻子ある身に分別盛りの年配にも係はらず一方○○の妻女お春（二四）に懸想して或る時機會に乘じてお春に挑み掛りたるに流石はお春は大に怒り直ちに龍山署へ強姦未遂として中山を相手取り告訴に及びたるにより中山は警察へ引致せらるゝ騷動に近所の者も見兼ねて一方お春を宥め告訴を取下げ中山より詫狀を差入れさせて此程漸く示談纏り手打ちとなりたるは中山に取りて意外の仕合せなりし何れにしても不器量なりしは中山にして此騷動の爲自分の女房は更に嫉妬の角を立て中山に喰つて掛るなど騷動は更に騷動を引き起したりと近所合壁の笑ひ草

●模範的の横着物

▽改心の色なく告訴さる

福岡縣企救郡北方本町番地不詳當時京城本町一丁目裏通り居住木村信親（三〇）と云ふは昨年十二月一日より南大門通り二丁目酒商澁川藤吉方賣捌人として雇はれたる者なるが十二月末より本年二月中旬に至る間に賣掛代金三百二十八圓六十九錢を横領し悉く酒と女とに費ひすてたることを主人に見付けられ腹々意見を加へられたるも更に改心の色なく益々不正な事ばかりするので二十六日南部署に告訴せらる

●仁川演藝會行惱

▽仁川氣質の發揮とムい

仁川の有志の發起にて演藝會を開催し入場料の揚り高全部を日本公園地修築の費に當てんと企てありし事は已報の如くなるが同實行委員長に美濃谷榮次郎氏推撰せられたるも氏は病氣の故を以て固辭したるを以て其後人撰中なりしが何人も尻込み斗りにて更に之に立つ者なきより一向相談纏らず行惱みの体なりと云ふ

●生活難か無慈悲か

▽鮮人町の捨兒

二月廿七日午後八時京城中部澄清坊相思洞九統一戸李召史方へ嬰兒の遺棄しありしが四十四年舊曆三月十五日生れと襟に記せしのみにて何處の者とも判明せず現今前記李方に保育中なりと

●下宿人を置去る

▽倒す下宿人が倒される

濟州島生れ京城北部大安洞三十七統一戸學生下宿業白鶴宜（三五）は自宅に下宿せる學生及び雇人の衣類等を留守中に運び出し入質し逃去したる旨其筋へ屆出づ

●御成座の幕を入質　二月十日御成町御成座主田中駒次郎より引幕小旗等の盜難屆に接し南部署狹野川副の兩刑事が犯人搜索中元同座の道具方として雇はれゐたる兵庫縣武庫郡西宮町九十九番地當時長橋通一丁目尾崎方同居中西吉松（三七）を嫌疑者として引致したるが最初は知らぬ存ぜぬの一點張なりしも嚴重なる取調べに包み切れず昨年四月中家人の不在に乘じ二階押入れより小旗三枚白金巾等價格十八圓を窃取し御成町五十番戶若松質店に一圓五十錢にて入質し同月下旬引幕一枚價格三十圓を窃取し山崎健二と僞名して龍山漢江通り四丁目黑川質店に一圓五十錢にて入質費消したることを自白に及びたるが尚餘罪ある見込みにて續いて取調べ中

●書記官邸に泥棒　京城西大門朝鮮總督府第三號官舍總督府書記官松本誠氏方に廿六日晩表門より忍び入り便所の窓を踏み臺とし屋根に登り雨戸を開き窃に二階の八疊の室に至り高貴織綿入一枚白縮緬兵兒帶一筋立縞更紗綿入一枚男縮袢一枚鼠色毛布一枚合計價格二十九圓五十錢の品を窃取され居る事翌朝廿七日に發覺し其旨西大門分署に屆出づ

●鮮婦人の投身　京城東部蓮花坊蓮洞四十一統六戸安正東方趙姓女（四五）は廿七日午前七時自宅より數軒離れし咸鏡煥方門前の井戸に投身し自殺せるを吳召史と云ふ近所の者投身後卅分餘に發覺し其旨東大門分署に急報せしかば同署池田巡査は金巡査補を伴ひ多々見警察醫と共に現場に出張檢視せるが原因は精神に異狀を生せし爲めなり

●掏淺捕はる　仁川府内面内洞十三統三戸金昌順（三〇）は廿七日午後四時頃仁川新町三丁目永井仙次郎方店頭の短靴一足代三圓七十錢を取逃走を企てたるを主人に發見され追跡中折から宮町派出所の杉田巡査が認め取押へ本署に引致取調中なるが此奴は以前にも同家にて掏淺を爲したる事ありと云ふ

●正誤　昨紙掲載の猫島樓にお炙と題する記事は金榮樓の誤りに付訂正す



お花見は？（其の一）

街路や屋根の上に春の光りが薄く流れてゐる擽ぐるやうに面を撫でて行く風にも春！と云つた感じが味はれる、日曜の午後一時、龍山行きの電車に身を乘せた藍の勝つた縞御召を羽織つて白羽二重のショールを手にした若い細君の姿が如何にも春に相應しい、漢江通入口に下車して電車道に沿ふて行くと右手に曾て監獄の豫定地となつて大騷ぎをした廣濶の場所がある、製紙會社を左に見てだら〳〵坂を登ると一面に老松が揃ねてゐる、孝子園の一部東北に面したる地は桃園と稱ばれ故伊藤公なども折々杖を曳かれたとか公園地として最も適當な場所と思はれる、前に南山を控へ後ろに漢江の流れを望む、ソレに數千株の桃が丘の半腹を廻つてゐて向ひの岡にも左方の人家の間にも幾百株の桃や杏が點綴されてゐる、花の時の賑ひ今から思ひやられる、惜しむらくば貪慾なる地主の無風流かあらずか中央數十坪の桃樹を伐採して好樂園の風致を殺ぎつゝあるのである（○生）

一番困るもの（三）

本町五丁目　餅屋　高砂餅

何です困るものと申しますと、ア、分明りました、私宅では位置は些も申分ないので皆樣が御贔負で何うか斯うか繁昌して居ります、夫れに就て今の家を建增しするやうに家主に願つて居ますが一向要求を容れて呉れぬので困りますが、此れが困るものになりませうか、それから御承知の通り當地では桶屋とか提灯屋が此の商賣に乘り換へた方が大したもので、マア内地から純粹の餅屋は私宅一軒でせう、それで極く餅には評判が好うムいます、イエ自惚ではありませんあの其れ豆の這入りました雷餅は私宅が元祖で漸く背擴め好評を博するやうになりましたのを商賣とは恁うしたものでせう他から同樣の名で模倣を仕まして誤魔馬鹿らしい事はムいません、此れが現今で一番困つて居る事で、私宅の商號は此のレツテルの通りですが、アノ一寸御待ち下さい惡い事をお掲し下さると、此れが一番困りますよと、大分困る種類を列べる

藝妓の性相と運命（七）

天象子觀識

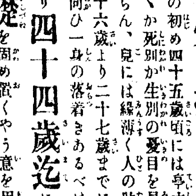
目下京城ホテル別館（柳翠樓前）に於て一般運命鑑定中なる天象子に忙中の閑を割いて標題の如な事を囑して快諾を得た、何しろいそがしい中での鑑定執筆だから毎日と云ふ譯には行くまいが兎に角讀物として當人の心得として面白い事と思ふ。（一記者）

井門本店政子

三月二日歸城する

觀ずるも夢の世、觀ぜざるも亦た夢の世かや、笑へばとて泣けばとて百歲を越ゆぬ人の命、蜉蝣とやら、人より見れば短き命なれども、人を宇宙の久遠より見れば又た蜉蝣にも似たるかな、**夕べの雨に開きし花は朝の風に散る**ものぞかし、其の花に似たる人の生涯、生者必滅の世なればこそ、惚るゝといふこともあり捨てらるゝといふこともあり、惚れし時の樂しき夢なども長からんや、惚るゝも捨てらるゝも觀ずれば皆な夢なり、夢と知りなば**將來忘れても男には惚れ無**いよう心するがよし、まして御身の妻妾宮といふ所には黑く寂しき雲の懸り居れば**猶幾度か男故に苦勞もし捨**てられもすべし、晩年の初め四十五歲頃には亭主に捨てらるゝか死別か生別の憂目を見ることもあらん、兒には緣薄く人の助けも少し二十六歲より二十七歲までには吉き方に向ひ一身の落着きあるべければ此時より**四十四歲迄に一生の礎**を固め置くやう意を用ゆべし本年十二月七日より明年一月五月七月には嬉しき事吉き事あり、亭主は官吏か會社員、夫れとも靑樓の大神になるもよし、孰れにもあれ後頭結節と云ふ部分の發達宜き男を撰ばずば苦勞絕ゆる時なからん怜悧なれども深き考へに乏しく**男を見誤ること多し**、生涯を花と觀ずれば、夢、仇し人の手には散さぬものぞ。（生年月と轉々の年月を知らすれば能く判る）

次は由良家の小奴



諸公債株券

現物賣買

迅速確實に御取扱可申候

兼業　既製洋服御小賣　諸官衙御用達

京城本町三丁目

大坂野村徳七代理店

田中友吉商店

▲通信販賣（兼營賣買次）▼

◎一葉の御手紙で百般の御買物を満足に調達するは弊店の通信販賣に限り申候
◎何品に不拘御入用の節は必ず先づ弊店へ御申越し被下度候
◎店地方係に御申越しの事
◎營業品以外の物品にても御注文に應じ便宜買次取扱可申候
◎御注文の節は可成前金又は振替貯金に御振込被下度候
◎前金御送附なき御方には代金引換小包郵便にて御送附可申上候
△御注文は地方係宛御申越可被下候
△詳細は弊店物價表にあり御報次第進呈

營業概目

△各國時計及附屬品△眼鏡
指輪装身具類
△貴金屬美術品類△歐米自轉車及附屬品
各種寫眞機及原料△大聲蓄音機及び音譜

直輸御小賣

織居商店

地方係

振替口座二二三一
時計部電話二二六二
寫眞部電話三三九
本町二自轉車部
電話四八〇番
南大門通三樂器部

釜山南濱町出張所
平壌大和町支店
京城本町四丁目

▲共通商品券▼

◎贈答品は弊店發行の織居共通券に限る
◎本券は引換地廣く扱店數も多き故普通商品券より多くの優れたる便利あり
本券は左の各扱店に於て引換可申候
又左の扱店中寫眞店で寫眞代代用す
京城織居各部、平壌織居、釜山園田
仁川糸岐、北島、長野、元山山口、徳田
大田鹽崎、大邱木村、開城戸田、鎭南浦
井川吉岡、群山神林、木浦田邊、沖永
安東縣、相良

綿、吳服界御通信

◉吳服部御紹介

大島式御召新荷着
本場秩父夜具地類品揃
柄行並に品質の撰定は弊店の特色御誂滿期調進致します

◉綿部御紹介

カード式製綿吹留、袋入綿全部品揃
諸る月缺ぐるの例に洩れず一時高價の綿類も安價となりました

◉地方部御紹介

御注文品は御來店と同様御安心遊ばす様丁寧迅速に御郵送申上ます

京城明治町二丁目

△唐川吳服店

電話二六一番

磨搗白米

龍山精米所

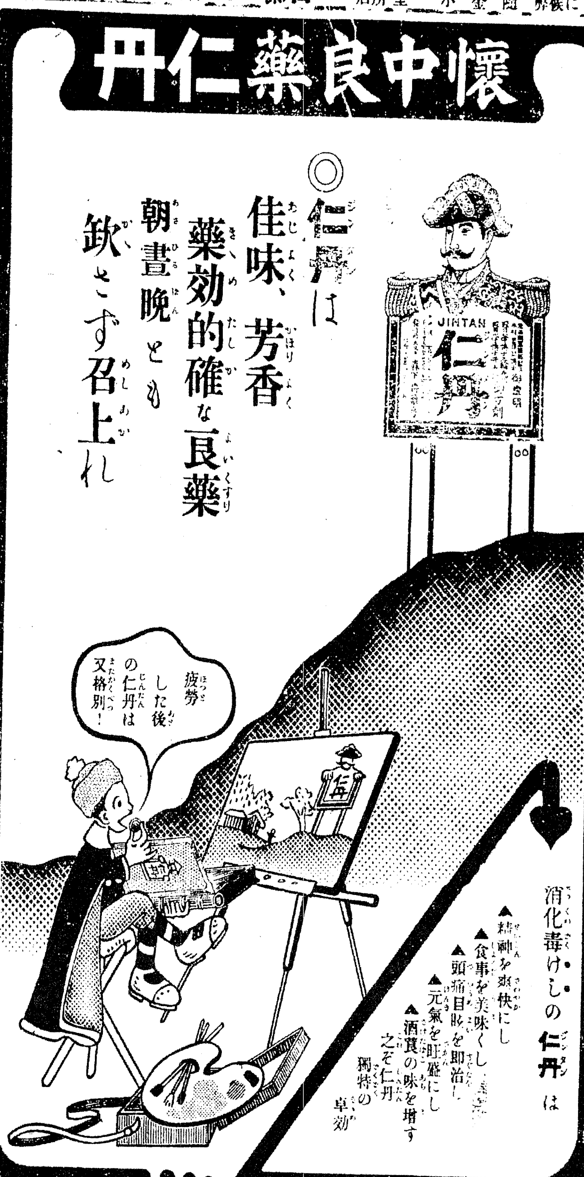
京城本町四
電話一二一〇番

大坂瓦斯コークス
並に器具一式

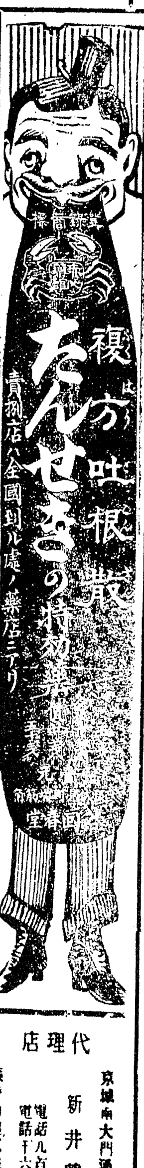
固定教科書文房具販賣
仁川新町二丁目

百崎金港堂

電話五百八番



代理店　京城新井藥房



代理店

京城南大門通三丁目
新井藥房
電話八百〇四番
電話千六十八番
振替口座京城十六番

銀行一般の業務精々御便利に取扱申候

株式會社十八銀行支店

京城黄金町（銅峴）
電話四二〇番五八〇番

○本店　長崎市
○日本朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、清國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候

◉貯蓄預金

○元金百圓に付日歩一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

齒科治療

本町六丁目（較そば横町）

ドクトル　中村安子

女子見習募集委細面談

（電話一五八三）

株式會社第一銀行京城支店

資本金　壹千萬圓
積立金　六百參拾五萬圓
明治六年設立

京城南山町三丁目

電話一番、六二一番
振替貯金口座京城一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

營業項目

牛乳搾收業
家畜飼養繁殖
畜産物賣買
家畜飼糧販賣
種牛種付及貸牛
其他畜産業一切

京城南大門外
荒井牧場
（電話一〇五六番）

江華島
荒井第一牧場

○牛乳販賣は京龍牛乳一手販賣所へ委托致候間從來通同所へ御用命希上候
○洋牛及朝鮮改良種牛々繁殖致候間御買求願上候

朝鮮銀行

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

電話（參參壹番、壹貳六〇番、六壹貳番、壹貳六壹番）

支店出張所（大坂、仁川、平壌、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣）
右ノ外內外ニ要ノ地ニ爲替取引先有之候

電話
擔保貸金
月賦賣渡
明治町一丁目
電話一八四四
口入業萬年社

印と刷

諸紙・諸官衙御用
和洋帳簿
印刷
各種製本

播本商店

京城永樂町二丁目
電話七百拾番

效能ある温泉

鐵冷温泉

旅館並に浴客席貸

京城長谷川町二丁目（朝鮮銀行北横手）

廣安喜次郎

電話一四一一番

物理化學機械
模型標本類
體操及運動具
教具校具一式
測量製圖機械
水彩及油繪用品一式
和洋紙帳簿一切
歐米文房具

●新案韓語栞發賣所●
●國語指南●

朝鮮京城本町三丁目
平田商店

教育品部
用達部

電話一一五番
電信略號（ヒ又はヒラタ）
振替口座京城四六八番

弊館には夜番の設備有り

眺望好き事

陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水産組合指定旅館
第一各保險會社指定旅館なり

御客樣の安全此の上なし

仁川港

旭屋旅館

電話二五一

銘酒

誠

仁川山根町
深見釀造場

新荷着

厚物薄物
浪板平板
鐵板各種
各種垣用線

和洋金物商

京城本町二丁目

佐野彥藏商店

電話一六三番
振替口座京城一二〇番

◎夜間診察は九時迄とす
◎肺結核及結核性疾患の最新注射は實費診療す

△六〇六號注射需に應ず

仁川病院

電話十六番

齒科診療

京城本町二丁目三越吳服店前
野田齒科醫院

仁川仲町三丁目末永吳服店隣
野田齒科醫院分院

荷客取扱所

合資會社秋田商會船舶部

仁川本町二丁目　電話七五〇番
秋田商會船部荷捌部　仁川本町海岸通　電話四一九番
柴田回漕店　仁川本町四丁目
山本回漕店　電話五三

キ　二月中瀛船出帆廣告

三菱丸　仁川發鎭南浦行　三月二日前二時
海利丸　海州行　三月二日前二時
成歡丸　中串行　二月一日前二時
安來丸　海州行　二月廿九日前十二時
三菱丸　大湖芝行　三月一日前十時

電話一七三番

宅地賣物

東四軒町一千百坪建六十坪
若草町二百二十坪建四十坪
右御入用の方は京城大和町大和倶樂部へ直接來談あれ

高島易斷

旭町一丁目御嶽教大講義

山の内

すし津祢

南山町一丁目
電話千五百二番

茲齋流割烹

株式會社百三十銀行

電話百…
振替貯金…

資本金五百…

頭取…

爲替取組…

畿内　大阪、神戸、兵庫、伏見、郡山、奈良、高田、貝塚、岸和田、平野、住吉、御影

東海道　東京、横濱、大磯、津、岡崎、濱松、半田、屋、熱田、四日市、山田、彥根、龜山

東山道　大垣、大津、八幡、長濱、多治見、長野、岐阜、中津、宇都宮、伊勢崎、能代、高崎、前橋、若松、福島、秋田、小濱、土崎、青森、仙臺、北方、加納

北陸道　金澤、高岡、敦賀、福井、鯖江、大聖寺

山陰道　米子、宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、境、松江、八手、太田、倉吉

山陽道　岡山、姫路、味野、龍野、牛窓、網干、玉島、岩見、西大寺、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、吳、小郡、岩國、笠岡、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關、明石

南海道　和歌山、高松、坂出、丸龜、串本、西條、松山、巴邊、御坊、新宮、尾鷲、今治、宇和島、吉田、洲本、八幡濱、高知、德島、撫養

西海道　門司、福岡、博多、直方、飯塚、伯、大分、別府、臼杵、長洲、佐世保、唐津、佐賀、若津、佐伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、八幡、小倉、中津、行橋、神崎

北海道　小樽、函館、札幌、旭川

臺灣　臺北、臺南

樺太　大泊

朝鮮　仁川、釜山、平壌、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晋州、馬山、大邱、羅南、新義州、城津、全州、大田、金泉、公州、水原、會寧

清國　安東縣、大連、營口、奉天、旅順

銀行一般の業務精々便利取扱可申候